

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 28項目のSDGsの取り組み



新北海道スタイル

私たちは新型コロナウイルス感染拡大防止に取り組んでいます

生活者の安心安全な利用のため、公共性の高い施設に設置されている当社自動販売機及びディスペンサーに抗ウイルス・抗菌施工を実施しています。他にも、全道の区役所のエレベーターの押しボタン、トイレ・授乳室の出入り口ドアノブなどの抗ウイルス・抗菌施工の実施を拡大しています。



SDGs目標



私たちはピンクリボン活動を応援します

ピンクリボン自動販売機で飲み物を買ったと、売上げの一部が日本対がん協会の乳がんをなくすための「ほほえみ基金」に寄付されます。飲み物を買っただけで気軽にピンクリボン活動に参加できます。



SDGs目標



北海道がん対策

私たちはがん対策基金を応援します

北海道がん対策基金自動販売機で飲み物を買ったと、売上げの一部が小児がん患者・がん教育支援などに活用される「北海道がん対策基金」に寄付されます。飲み物を買っただけで気軽に「がん対策基金」を応援できます。



SDGs目標



私たちは環境教育事業に取り組んでいます

水資源の大切さや環境保全の意味を楽しく学んでもらうために、環境出張授業「水の授業」を展開しています。これまで道内各地の環境イベントをはじめ札幌市内の学校などでも実施し、多くの方にご参加いただきました。



SDGs目標



私たちは地域社会を支える人材/次世代教育に取り組んでいます

道内の高校生を対象にSDGs理解促進をテーマに、当社のサステナビリティ活動を含めたSDGs出張授業を行っております。これは、SDGs達成や地域課題の解決に取り組む地域社会を支える人材育成の一環として行っています。

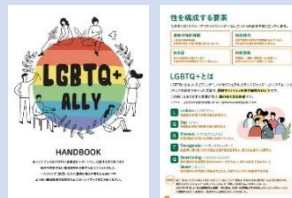


SDGs目標



私たちはダイバーシティ&インクルージョンを推進しています

当社を含む全国5社のボトリング会社と日本コカ・コーラ株式会社などで構成されるコカ・コーラシステムは、「多様性の尊重」に関する取り組みの1つとして、「LGBTQ+アライのためのハンドブック※」を策定し、一斉導入しました。



SDGs目標



※アライは、「同盟」や「味方」などを意味する英語「ally」が語源で、自分自身が性的マイノリティであるかどうかによらず、積極的にLGBTQ+を理解し、サポートする人を指します。



北海道e-水プロジェクト

私たちは北海道e-水プロジェクト に取り組んでいます

北海道の豊かな自然環境を道民全体で保全し、未来へと引き継いでいくことを目的に、「い・ろ・は・す 天然水」540mlPETの売上の一部を同財団に寄付し、それを財源に北海道各地で水辺の環境保全に多彩に取り組む団体を支援しています。



SDGs目標



私たちは植林・水源涵養 に取り組んでいます

札幌工場が使う地下水の水源が清田区の白旗山であることから、札幌市と締結した「環境事業に関する協定」に基づき白旗山の森づくりを進めています。豊富な地下水を育む水源の涵養能力を高めることは、「水」を利用してビジネスを行う企業としての責任と考え、継続的に取り組んでいます。



SDGs目標



私たちは豆かすバイオマス供給 に取り組んでいます

札幌工場より排出されるコーヒー粕は産廃処理によりたい肥化していましたが、2020年8月より江別にある「Kalm角山」にて牛の敷き藁として活用、使用済みの敷き藁は先方のバイオマス発電原料としても活用されています。



SDGs目標



私たちは道内自社生産・自社物流 に取り組んでいます

北海道内で販売している製品の約9割を札幌工場で生産するとともに、北海道コカ・コーラグループの幸楽運輸株式会社にて独自に培ってきた物流ノウハウやインフラ、事業スケールを活用して全道各営業拠点へ効率的に製品を配送し、本州製造品と比較して、CO2排出量削減に貢献しています。



SDGs目標



私たちは道産の原材料使用 を推進しています

札幌工場と同じ清田区に位置する白旗山を水源とする地下水を使用して製品を生産しています。また、牛乳は100%道産のものを使用し、北海道における地産地消に貢献するとともに、フードマイレージを抑えた環境負荷低減に貢献しています。



SDGs目標



私たちはフードバンク・子ども食堂 を応援します

1968年より毎年クリスマスの時期に、全道の福祉施設や児童養護施設、生活困窮者支援団体などにコカ・コーラ製品をお贈りしています。また、2020年からは北海道内のフードバンク団体を通じて、地域の子ども食堂などへも製品寄付を実施しています。



SDGs目標



私たちは寄付金自動販売機 に取り組んでいます

寄付型自動販売機は、設置契約者さまや購入者の皆さまが、飲料の購入を通じて社会との関わりを深め、社会貢献活動を支援する自動販売機です。地域に根差した幅広い対象団体に売上金の一部を寄付することができ、さまざまな社会問題の解決に役立てることができます。



SDGs目標



私たちは災害対応自動販売機 を積極的に展開しています

北海道および道内全179市町村と防災協定と結び、災害時に遠隔操作によって機内の飲料を無償で提供できる「フリーベンド」の機能を備え、電光掲示板で災害情報が発信される「災害対応自動販売機」を展開しています。また、道内各地の防災訓練に参加し、災害への備えを啓蒙しています。



SDGs目標





私たちは**廃棄物ゼロ社会の実現**を目指しています

日本のコカ・コーラシステムでは、グローバルビジョン「World Without Waste」(廃棄物ゼロ社会)に基づき、「設計」「回収」「パートナー」の3本の柱からなる活動に取り組み、容器由来の廃棄物削減と日本国内におけるプラスチック資源の循環利用の促進に貢献しています。



SDGs目標



私たちは**ボトルtoボトルによる100%リサイクル**を実現します

プラスチック循環型社会を実現するため、回収したPETボトルを新しいPETボトルとしてリサイクルする“ボトルtoボトル”を推進しています。また、2021年より、啓蒙活動の一環としてすべてのリサイクル可能な製品パッケージに共通の「リサイクルしてね」ロゴの導入を進めています。



SDGs目標



私たちは**製品廃棄ロスゼロ**を目指します

製品廃棄ロスゼロを目指し、北海道コカ・コーラグループの北海道ベンディングでは、自動販売機の売れ行きを把握して製品の賞味期限をチェックし、日々オペレーションを行っています。自社管理の「フルサービssystem」で賞味期限切れを出さない仕組みづくりをしています。



SDGs目標



私たちは**海浜清掃活動**に取り組みます

北海道の価値ある自然環境を守るため、道内各地で清掃活動を実施しています。その一環として、海岸や河川での清掃活動およびビーチ/リバー・コーミングを実施し、社員の意識醸成を図るとともに、拾ったごみのデータを収集・提供することで、ごみ問題解決に貢献しています。



SDGs目標



私たちは**環境美化活動**に取り組みます

事業活動を通じた地域課題解決の一環として、地域活性化や安心安全なまちづくりに貢献するため、全道にある事業所周辺などで清掃活動を実施しています。他にも本社がある札幌市清田区では花壇の植栽に参加するなど、各地域の環境美化活動に参加しています。



SDGs目標



私たちは**自社排水処理**を採用しています

水資源保護活動の一環として、札幌工場の排水処理には、国の排水基準を上回る自社基準を設け、微生物の自己浄化サイクルを活性化させて余剰汚泥の発生量を抑える「ラグーン処理方式」を採用しています。



SDGs目標



私たちは**各自治体と連携して魅力あるまちづくり**に取り組んでいます

創業より魅力あるまちづくりに貢献してきた当社は、2014年に北海道と包括連携協定を締結しました。他にも、札幌市および市内10区、札幌市と周辺11市町村で発足した「さっぽろ連携中枢都市圏」、旭川市、函館市、釧路市、帯広市、広尾町ともまちづくりに関する協定を結んでいます。



SDGs目標



私たちは**地域の企業・団体との連携**に取り組んでいます

スポーツは、心身の健やかさを育む価値のある習慣です。たくさんの人々が楽しむことで、地域に新たな元気も生まれます。北海道の全域にスポーツの力がみなぎるよう、当社はプロスポーツチームを応援しています。ゲーム観戦や選手たちとの交流をテーマにしたキャンペーンなども展開しています。



SDGs目標





私たちは温室効果ガスの削減に取り組んでいます

日本のコカ・コーラシステムは、日本国内のバリューチェーン全体における温室効果ガスを2030年までにスコープ1、2(工場やオフィス、エネルギーに起因する排出量)において50%、スコープ3(原料の加工、自動販売機などの排出量)において30%(いずれも2015年比)削減することを目指しています。



SDGs目標



私たちは『フェアトレード』に貢献します

北海道コカ・コーラグループは、ザ コカ・コーラ カンパニーの定める「サプライヤー基本原則」にある児童労働の禁止、強制労働と労働者虐待の禁止などの10項目の行動原則を遵守し、当社のサプライヤーが、法令を遵守し倫理的に行動する業務プロセスを構築し導入することを求めています。



SDGs目標



私たちは道産牛乳100%使用に取り組んでいます

北海道で製造されるコカ・コーラ社製品に使用される牛乳は100%北海道産を使用しており、北海道酪農と当社事業は密接な関係を持っていることから、北海道産牛乳の消費拡大に取り組むことで、持続可能な酪農・乳業の実現に貢献してまいります。



SDGs目標



私たちは暮らしの火の用心協力隊を応援しています

札幌市消防局が推進する官民一体の市民への取り組み「暮らしの火の用心協力隊」プロジェクトに協力企業として参画し、自動販売機への防火ポスターの掲示、工場見学者への防火のちらしを配布しています。



SDGs目標



私たちは子どもの安全を見守る運動に取り組んでいます

当社が北海道へ政策提案することで始まったこの運動は、子どもの安全に対する大人の注意喚起を促すとともに、地域で見守り、子どもの安全確保を図る運動です。事業所と車両(約900台)にポスターやステッカーを掲示しながら、社員一人ひとりが業務を通じて子どもたちの安全を見守っています。



SDGs目標



私たちは高品質で安心安全な製品を提供します

「品質」はISO9001を、「食品安全」はFSSC22000を取得しています。また、北海道コカ・コーラグループの北海道サービスではHACCP指導員によるHACCPコンサルティング業務を行っており、北海道における製品の安全性確保に貢献することを目指しています。



SDGs目標

